

令和6年度
臨床指標

令和7年度作成

社会医療法人 福西会 福西会病院

臨床指標とは

臨床指標とは、病院の機能や診療の状況などについて、様々な指標を用いて具体的な数値として示したものです。

指標を分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんにとって分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

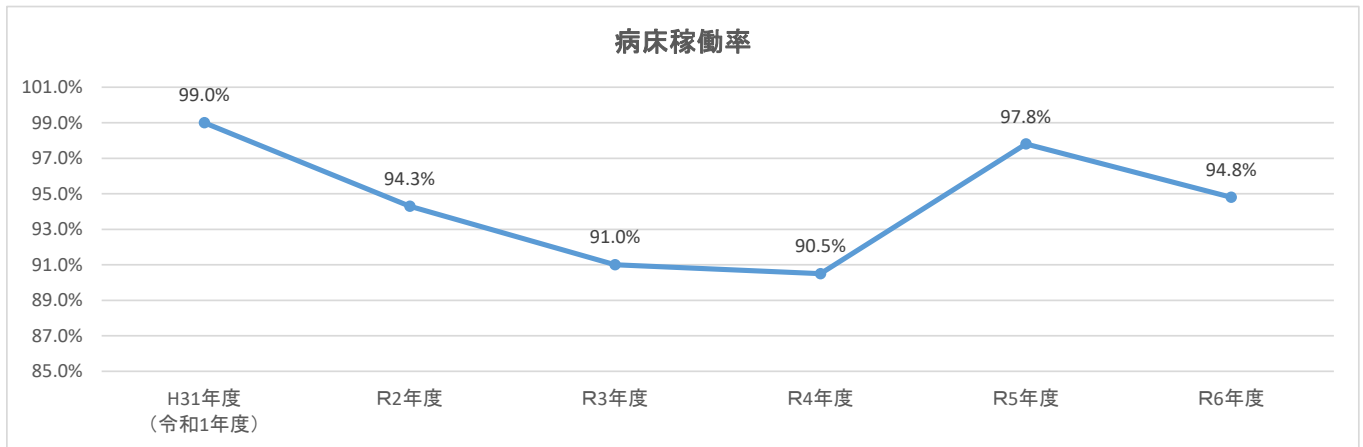
掲載項目内容

1. 病床稼働率
2. 急性期平均在院日数
3. 平均入院患者数
4. 年齢階級別退院患者数(2024年度)
5. 急性期在宅復帰率
6. 地域包括ケア病棟在宅復帰率
7. 延べ 外来・入院患者数
8. 紹介率・逆紹介率
9. 年度別6週間以内再入院割合
10. 救急車・ホットライン応需率
11. 大腿骨頸部骨折の早期手術割合
12. 大腿骨転子部骨折の早期手術割合
13. 入外別救急車受入台数
14. 年度別手術件数
15. 服薬指導割合
16. 入院栄養食事指導割合
17. 院内褥瘡発生割合
18. 転倒・転落発生割合
19. 令和2・3年度 国際疾病分類集計表

病床稼働率

(単位: %)

	H31年度 (令和1年)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
稼働率	99.0%	94.3%	91.0%	90.5%	97.8%	94.8%



【値の解釈】

より高い値が望ましい

【指標の計算方法】

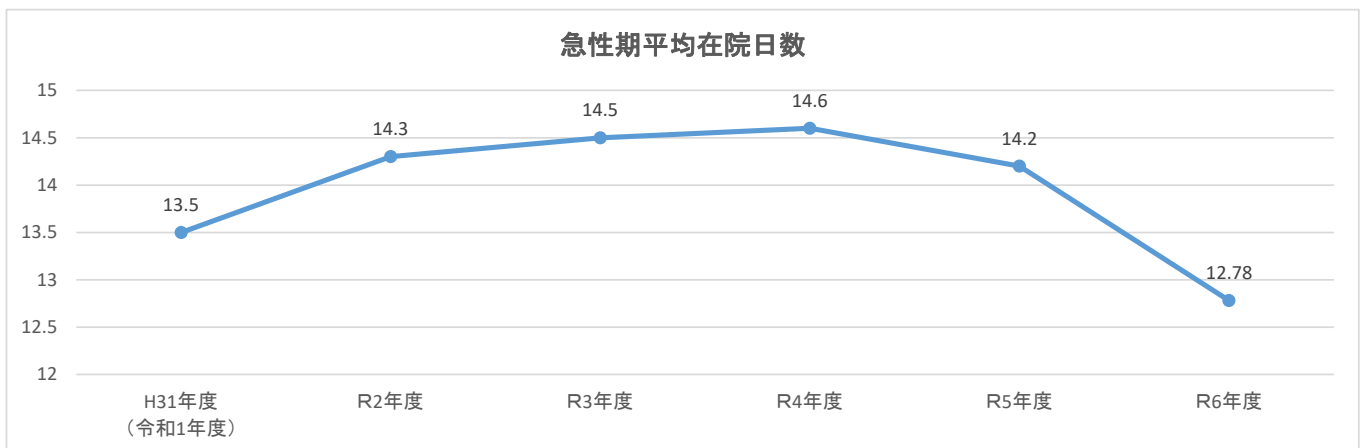
分子: 退院患者数+転出患者+入院患者延べ数 × 100

分母: 許可病床数 × 年間入院診療実日数

急性期平均在院日数

(単位: 日)

	H31年度 (令和1年)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
日数	13.5	14.3	14.5	14.6	14.2	12.78



【値の解釈】

より低い値が望ましい

【指標の計算方法】

分子: 年間在院患者延べ数(生保、労災、自賠等、短期症例を外した数)

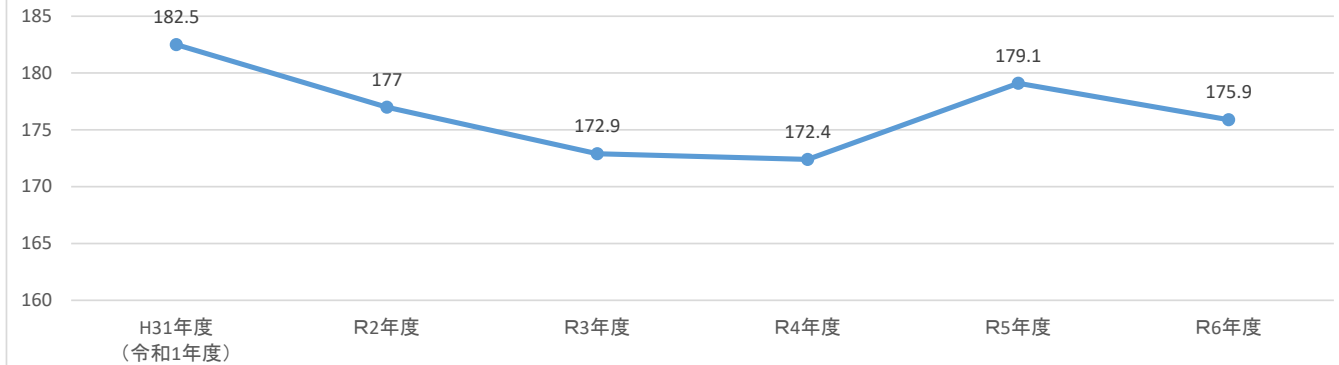
分母: (年間新規入院患者数+年間退院患者数+転入+転出)

平均入院患者数

(単位:人)

	H31年度 (令和1年)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
人数	182.5	177	172.9	172.4	179.1	175.9

平均入院患者数



【値の指標】

より高い方が望ましい

【指標の計算方法】

分子: 年間在院患者延べ数

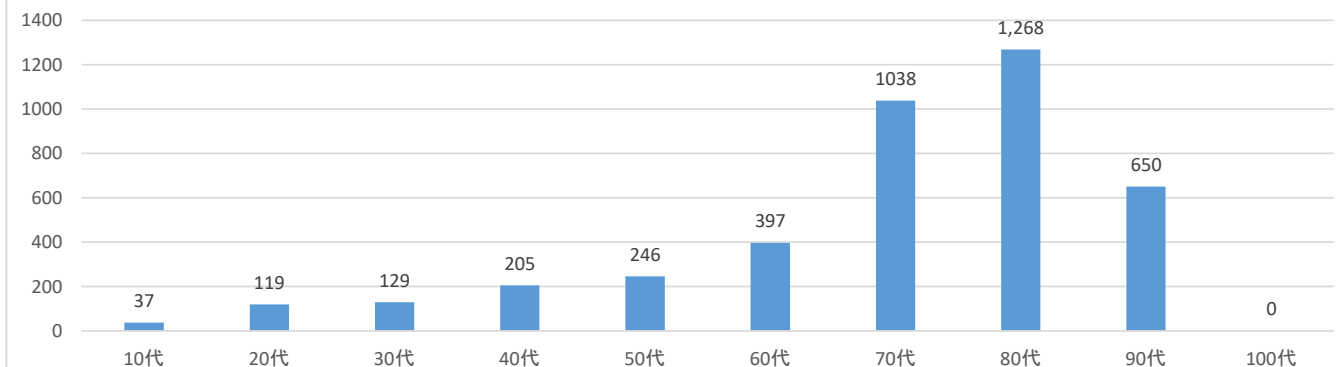
分母: 年間入院診療実日数

年齢階級別退院患者数(2024年度)

(単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代
件数	37	119	129	205	246	397	1038	1,268	650	0

年齢階級別退院患者数(2023年度)



【指標の解釈】

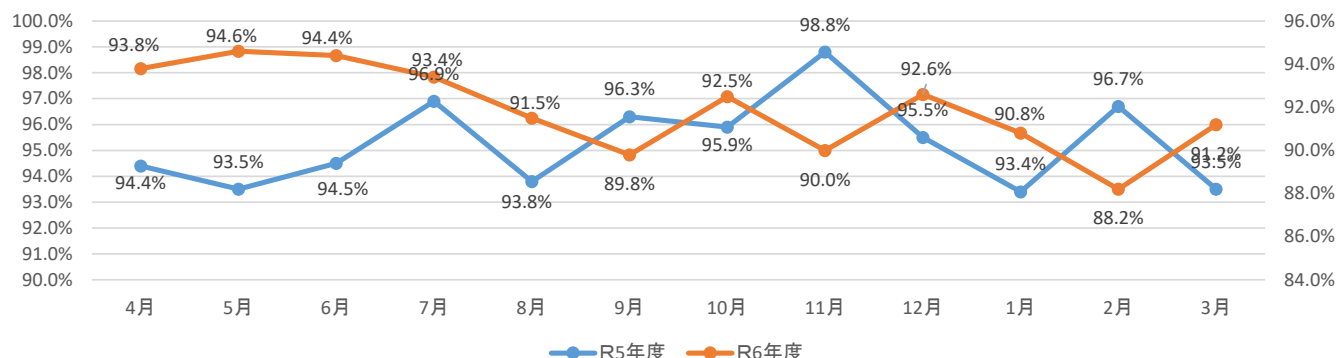
当院で、2023年度に退院した患者を10歳区切りで集計したものです。
当院では、70歳代以上の患者割合が70%を占めております。

急性期在宅復帰率

(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5年度	94.4%	93.5%	94.5%	96.9%	93.8%	96.3%	95.9%	98.8%	95.5%	93.4%	96.7%	93.5%
R6年度	93.8%	94.6%	94.4%	93.4%	91.5%	89.8%	92.5%	90.0%	92.6%	90.8%	88.2%	91.2%

急性期在宅復帰率



【値の解釈】

より高い方が望ましい

【指標の計算方法】

分子: 在宅等へ退院・退棟した患者数

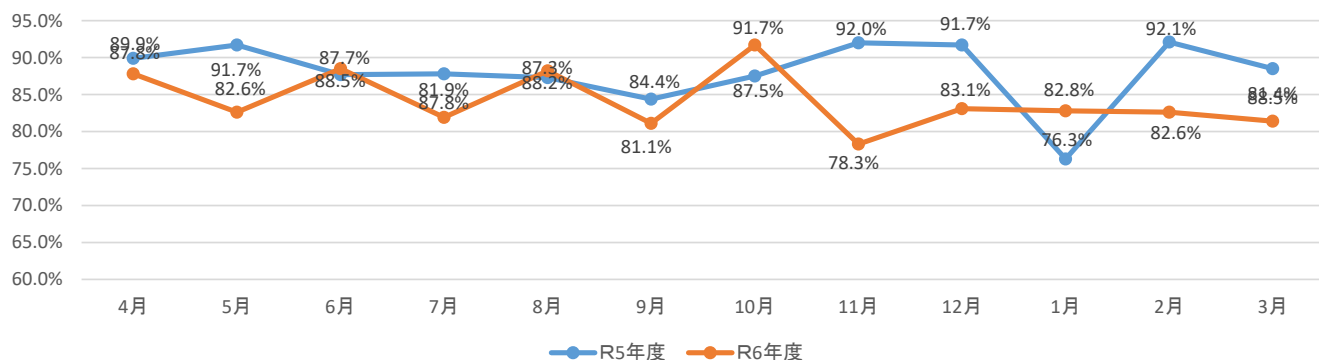
分母: 退院患者数(死亡退院・転棟患者を除く)

地域包括ケア病棟在宅復帰率

(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5年度	89.9%	91.7%	87.7%	87.8%	87.3%	84.4%	87.5%	92.0%	91.7%	76.3%	92.1%	88.5%
R6年度	87.8%	82.6%	88.5%	81.9%	88.2%	81.1%	91.7%	78.3%	83.1%	82.8%	82.6%	81.4%

地域包括ケア病棟在宅復帰率



【値の解釈】

より高い方が望ましい

【指標の計算方法】

分子: 在宅等へ退院・退棟した患者数

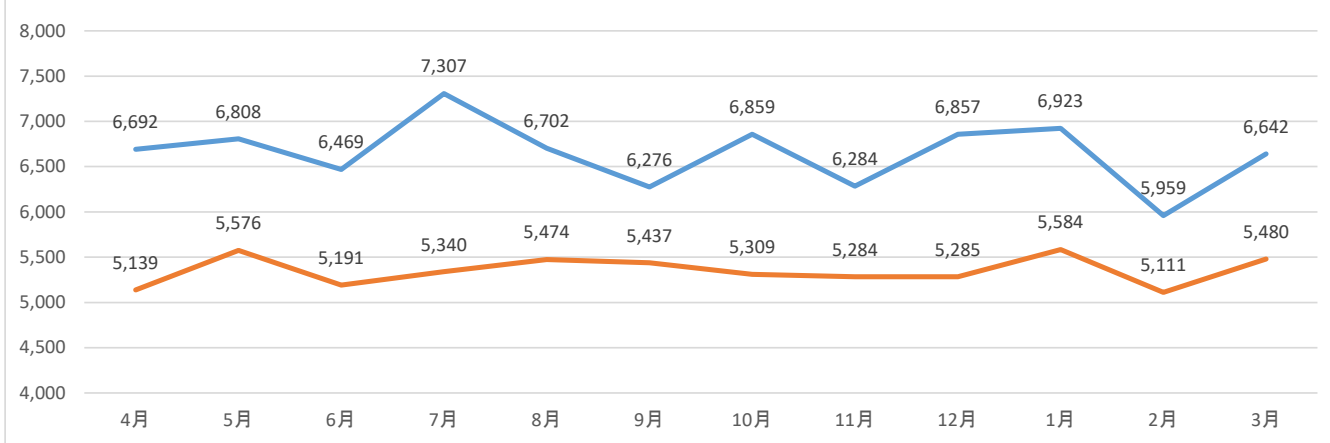
分母: 退院患者数(死亡退院・転棟患者を除く)

延べ 外来・入院患者数

(単位: 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	6,692	6,808	6,469	7,307	6,702	6,276	6,859	6,284	6,857	6,923	5,959	6,642
入院	5,139	5,576	5,191	5,340	5,474	5,437	5,309	5,284	5,285	5,584	5,111	5,480

延べ 外来・入院患者数



【値の解釈】

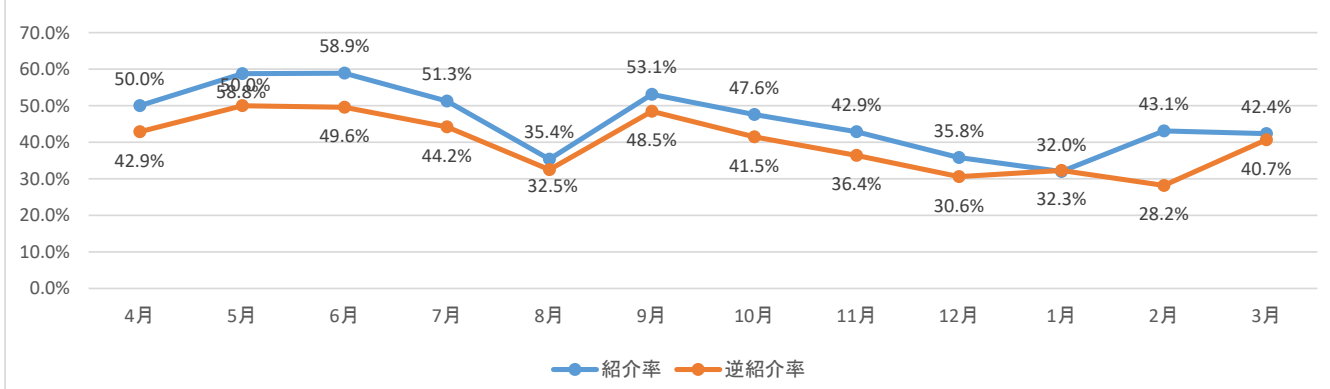
当院で、各月ごとに外来患者数・入院延べ患者数を集計したものです。

紹介率・逆紹介率

(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	50.0%	58.8%	58.9%	51.3%	35.4%	53.1%	47.6%	42.9%	35.8%	32.0%	43.1%	42.4%
逆紹介率	42.9%	50.0%	49.6%	44.2%	32.5%	48.5%	41.5%	36.4%	30.6%	32.3%	28.2%	40.7%

紹介率・逆紹介率



【値の解釈】

より高い方が望ましい

【指標の計算方法】

紹介率 分子: 紹介患者数
分母: 初診患者数-(救急車により救急搬送された初診患者数+休日・夜間の救急初診患者数)

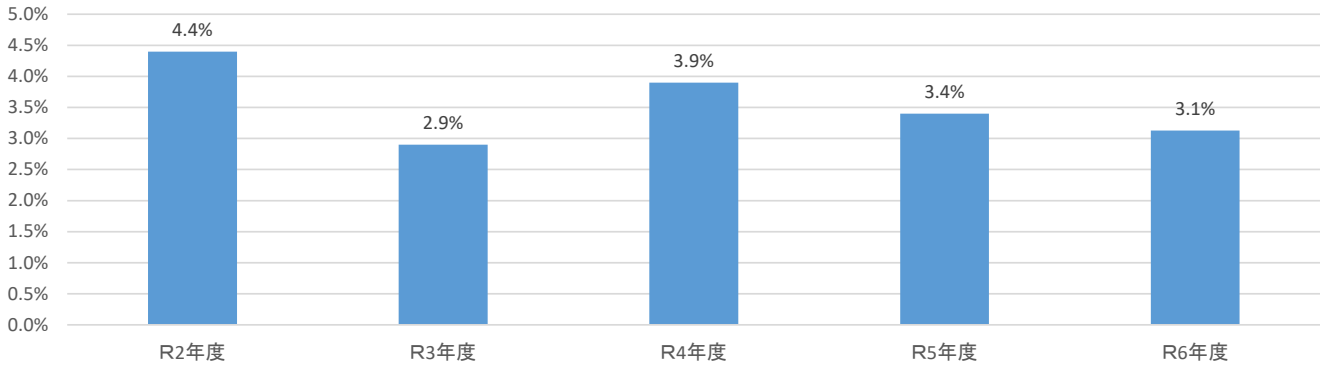
逆紹介率 分子: 逆紹介患者数
分母: 初診患者数-(救急車により救急搬送された初診患者数+休日・夜間の救急初診患者数)

年度別6週間以内再入院割合

(単位: %)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
割合	4.4%	2.9%	3.9%	3.4%	3.1%

年度別6週間以内の再入院率



【値の解釈】

より低い方が望ましい

【指標の計算方法】

分子: DPC上6桁が同一で42日以内の再入院した患者数

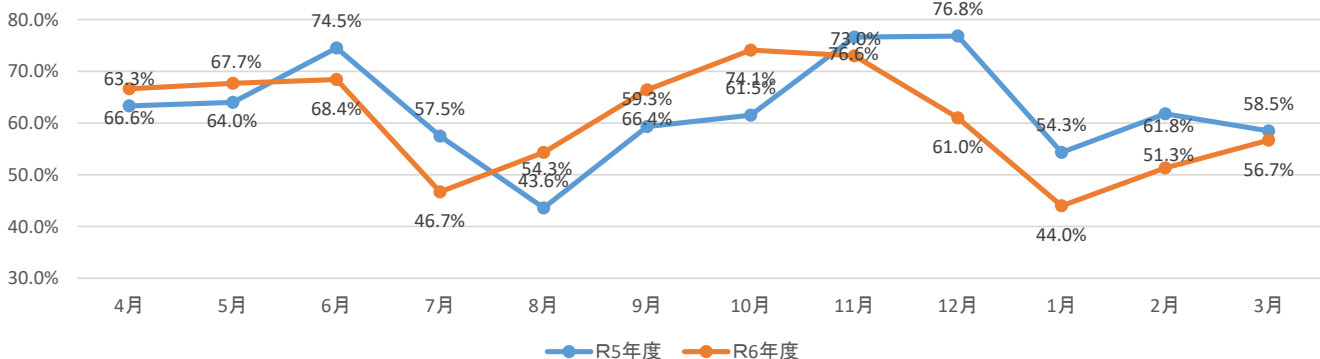
分母: 年間退院患者数

救急車・ホットライン応需率

(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5年度	63.3%	64.0%	74.5%	57.5%	43.6%	59.3%	61.5%	76.6%	76.8%	54.3%	61.8%	58.5%
R6年度	66.6%	67.7%	68.4%	46.7%	54.3%	66.4%	74.1%	73.0%	61.0%	44.0%	51.3%	56.7%

救急車・ホットライン応需率



【値の解釈】

より高い値が望ましい

【指標の計算方法】

分子: 救急車・ホットライン応需件数

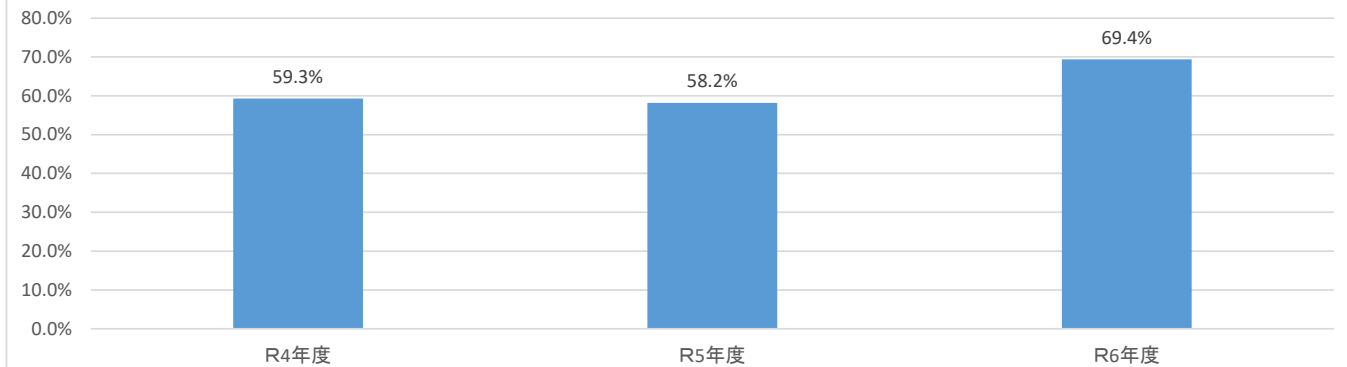
分母: 救急車・ホットライン応需件数+断り件数

大腿骨頸部骨折の早期手術割合

(単位: %)

	R4年度	R5年度	R6年度
割合	59.3%	58.2%	69.4%

大腿骨頸部骨折の早期手術割合



【値の解釈】

大腿骨頸部骨折に対する手術を行った患者のうち、入院後2日以内に手術を行った患者の割合です。

【指標の計算方法】

分子: 分母のうち、入院2日以内に手術を受けた症例

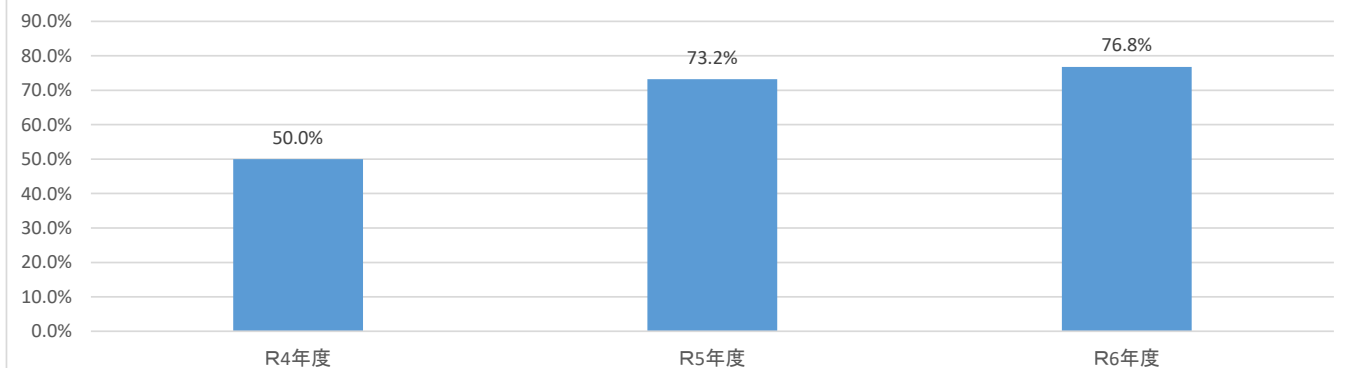
分母: 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨骨折の手術を受けた症例

大腿骨転子部骨折の早期手術割合

(単位: %)

	R4年度	R5年度	R6年度
割合	50.0%	73.2%	76.8%

大腿骨頸部骨折の早期手術割合



【値の解釈】

大腿骨転子部骨折に対する手術を行った患者のうち、入院後2日以内に手術を行った患者の割合です。

【指標の計算方法】

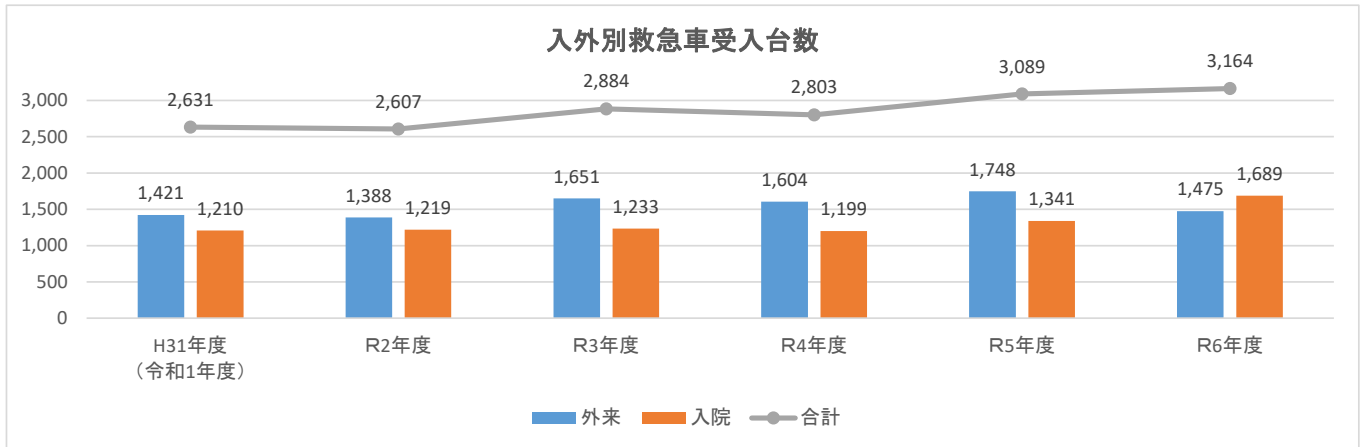
分子: 分母のうち、入院2日以内に手術を受けた症例

分母: 大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨骨折の手術を受けた症例

入外別救急車受入台数

(単位:件数)

	H31年度 (令和1年)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
外来	1,421	1,388	1,651	1,604	1,748	1,475
入院	1,210	1,219	1,233	1,199	1,341	1,689
合計	2,631	2,607	2,884	2,803	3,089	3,164



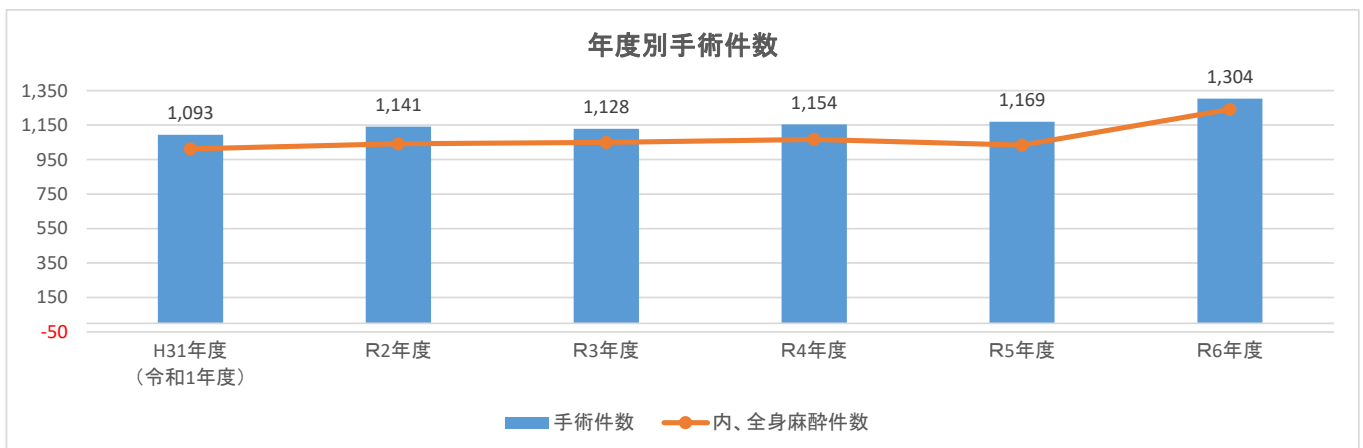
【指標の説明】

年間の救急車受入台数を、入院外来別に集計したものです。
救急車受入台数は年々増加傾向にあり、令和4年度では1日平均約台の受入を行っている事になります。

年度別手術件数

(単位:件数)

	H31年度 (令和1年)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
手術件数	1,093	1,141	1,128	1,154	1,169	1,304
内、全身麻酔件数	1,012	1,042	1,050	1,067	1,034	1,241



【指標の説明】

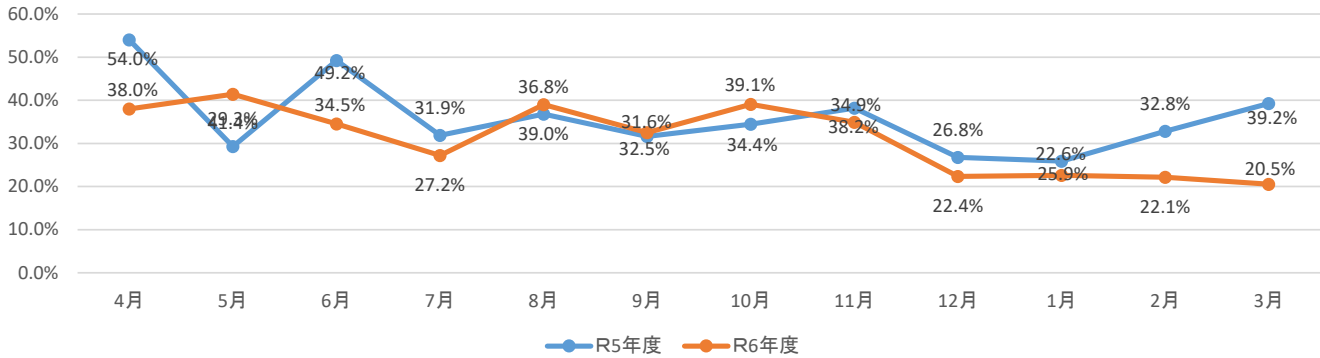
当院で行われている、年間手術件数を集計したものです。
折れ線グラフは、年間手術件数の内、全身麻酔にて手術を行われた件数を表しております。

服薬指導割合

(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5年度	54.0%	29.3%	49.2%	31.9%	36.8%	31.6%	34.4%	38.2%	26.8%	25.9%	32.8%	39.2%
R6年度	38.0%	41.4%	34.5%	27.2%	39.0%	32.5%	39.1%	34.9%	22.4%	22.6%	22.1%	20.5%

服薬指導割合



【値の解釈】

より高い方が望ましい

【指標の計算方法】

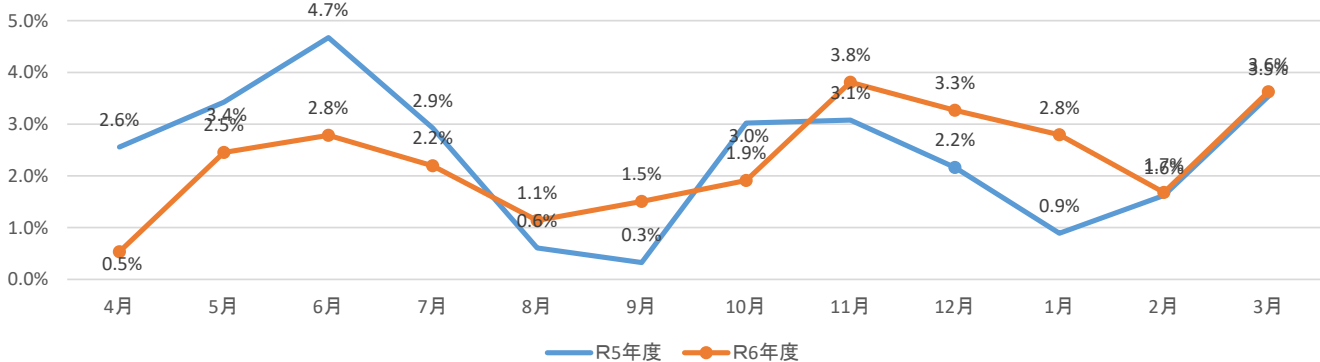
分子: 薬剤指導を受けた患者数
分母: 入院患者数

入院栄養食事指導割合

(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5年度	2.6%	3.4%	4.7%	2.9%	0.6%	0.3%	3.0%	3.1%	2.2%	0.9%	1.6%	3.5%
R6年度	0.5%	2.5%	2.8%	2.2%	1.1%	1.5%	1.9%	3.8%	3.3%	2.8%	1.7%	3.6%

入院栄養食事指導割合



【値の解釈】

より高い方が望ましい

【指標の計算方法】

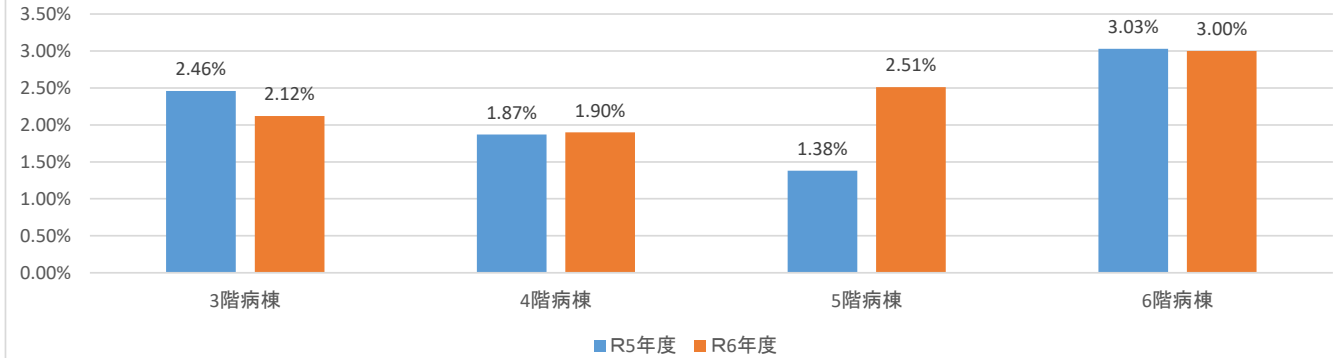
分子: 栄養指導件数
分母: 入院患者数

院内褥瘡発生割合

(単位: %)

	3階病棟	4階病棟	5階病棟	6階病棟
R5年度	2.46%	1.87%	1.38%	3.03%
R6年度	2.12%	1.90%	2.51%	3.00%

院内褥瘡発生率



【値の解釈】

より低い方が望ましい

【指標の計算方法】

分子: 院内褥瘡発生患者数

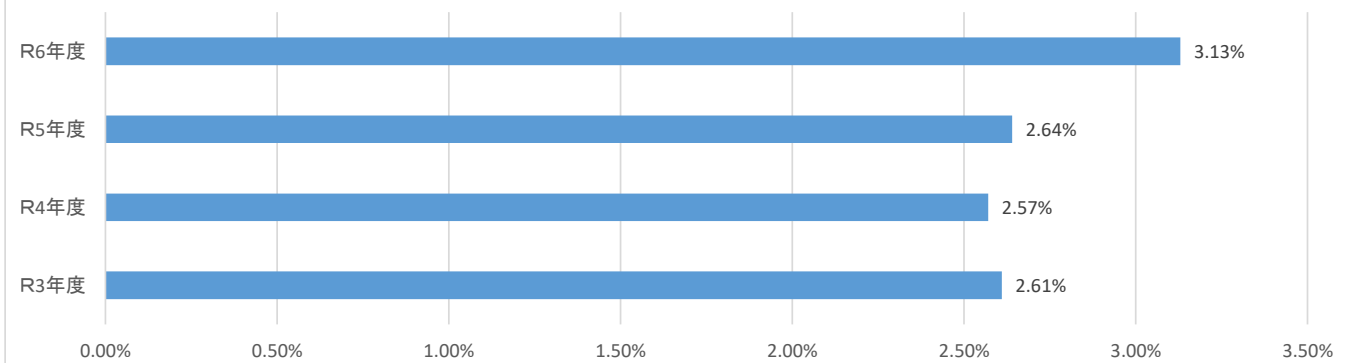
分母: 入院患者実数

転倒・転落発生割合

(単位: %)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
割合	2.61%	2.57%	2.64%	3.13%

転倒・転落発生割合



【値の解釈】

より低い方が望ましい

【指標の計算方法】

分子: 入院患者の内、転棟・転落した患者数

分母: 入院患者延べ数

令和5・6年度 国際疾病分類集計表

令和5年度	外科	整形外科	循環器科	内科	呼吸器科	消化器外科	神経内科	放射線科	泌尿器科	脳神経外科	大腸肛門科	消化器科	腎臓内科	在宅診療	合計
01:感染症及び寄生虫症	1	2	5	23	3	8	6	0	5	0	6	62	8	0	129
02:新生物	3	3	1	2	22	130	1	3	55	10	11	44	0	0	285
03:血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	0	0	2	3	2	1	2	0	0	0	0	6	1	0	17
04:内分泌、栄養および代謝疾患	0	1	3	27	3	1	14	1	1	4	1	16	17	0	89
05:精神および行動の障害	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	7
06:神経系の疾患	0	4	2	9	8	0	77	0	0	10	0	9	1	0	120
07:眼および付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
08:耳および乳様突起の疾患	0	0	1	7	0	0	46	0	0	6	0	2	1	0	63
09:循環器系の疾患	1	2	333	19	4	1	106	1	2	29	0	6	26	0	530
10:呼吸器系の疾患	1	0	18	36	272	4	26	1	1	2	2	9	19	0	391
11:消化器系の疾患	1	3	1	10	2	386	1	0	1	1	236	318	3	0	963
12:皮膚および皮下組織の疾患	20	4	0	4	0	5	0	0	0	0	3	0	4	0	40
13:筋骨格系および結合組織の疾患	1	117	3	4	2	1	2	0	1	4	2	3	5	0	145
14:腎尿路生殖器系の疾患	1	0	12	24	5	3	16	1	113	1	2	10	57	0	245
15:妊娠、分娩および産褥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16:周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17:先天奇形、変形および染色体異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18:症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	2	0	1	5	1	5	2	0	3	1	0	3	1	0	24
19:損傷、中毒およびその他の外因の影響	8	676	16	15	21	1	10	3	2	66	5	12	4	0	839
20:傷病および死亡の外因す要因および 保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21:健康状態に影響をおよぼす要因および 保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22:特殊目的用コード	1	1	13	4	11	0	9	0	2	3	0	6	3	0	53
合計	40	813	412	193	356	546	321	10	186	137	268	509	150	0	3,941

令和6年度	外科	整形外科	循環器科	内科	呼吸器科	消化器外科	神経内科	放射線科	泌尿器科	脳神経外科	大腸肛門科	消化器科	腎臓内科	在宅診療	合計
01:感染症及び寄生虫症	4	1	7	19	13	10	0	3	5	1	3	63	17	0	146
02:新生物	0	4	0	4	27	143	1	1	58	13	8	37	1	0	297
03:血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	1	0	2	3	1	3	0	2	0	0	1	10	3	0	26
04:内分泌、栄養および代謝疾患	2	1	7	16	4	9	2	5	0	6	5	19	12	0	88
05:精神および行動の障害	0	0	1	2	0	2	1	0	0	2	1	4	0	0	13
06:神経系の疾患	0	6	1	7	6	3	11	1	0	22	0	3	4	0	64
07:眼および付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
08:耳および乳様突起の疾患	0	0	5	7	2	1	23	2	0	23	1	1	2	0	67
09:循環器系の疾患	1	1	314	19	1	5	4	0	0	73	0	12	27	0	457
10:呼吸器系の疾患	1	2	34	32	294	5	0	6	1	4	2	19	33	0	433
11:消化器系の疾患	4	1	3	9	2	411	0	2	0	0	244	319	5	0	1,000
12:皮膚および皮下組織の疾患	36	9	2	1	0	2	0	0	0	0	9	0	2	0	61
13:筋骨格系および結合組織の疾患	3	137	7	8	3	0	0	2	0	2	1	6	7	0	176
14:腎尿路生殖器系の疾患	3	0	13	21	2	7	0	4	104	3	4	14	79	0	254
15:妊娠、分娩および産褥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16:周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17:先天奇形、変形および染色体異常	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
18:症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	0	0	1	8	3	3	0	0	7	1	0	12	3	0	38
19:損傷、中毒およびその他の外因の影響	13	793	15	8	8	10	2	6	3	72	4	12	13	0	959
20:傷病および死亡の外因す要因および 保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21:健康状態に影響をおよぼす要因および 保健サービスの利用	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22:特殊目的用コード	4	0	10	9	8	2	1	1	0	2	2	10	8	0	57
合計	73	955	422	173	374	616	45	36	178	224	285	541	217	0	4,139